

くすりのしおり

外用剤

2021年11月改訂

薬には効果(ベネフィット)だけでなく副作用(リスク)があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ベストロン耳鼻科用1% (500mg)

主成分：セフメノキシム塩酸塩 (Cefmenoxime hydrochloride)

剤形：粉末は白色～帯橙淡黄色、溶解液は無色澄明、溶解後は無色～淡黄色澄明の局所外用液剤

シート記載：ベストロン耳科用液1%



この薬の作用と効果について

セフェム系の抗生物質で、細菌細胞壁の構成成分の合成を阻害することにより殺菌作用を示します。通常、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- 妊娠または授乳中
- 他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- あなたの用法・用量は(医療担当者記入)
- 外耳炎・中耳炎：添付の溶解液で1mL当たり主成分として10mg(力価)の濃度に溶解し、通常、1回6～10滴を点耳し、約10分間の耳浴を1日2回行います。
- 副鼻腔炎：添付の溶解液で1mL当たり主成分として10mg(力価)の濃度に溶解し、通常、1回2～4mLを1日おきに1週間に3回ネブライザーで噴霧吸入するか、1回1mLを1週間に1回上顎洞内に注入します。
- いずれの場合も、症状により適宜回数が増減されます。必ず指示された使用方法に従ってください。
- 冷たい薬液を点耳すると、「めまい」を起こすことがあるため、薬液は部屋の温度に戻してください。治療する耳を上にして横になり、容器の先端が直接耳に触れないように注意して点耳し、約10分間そのままの状態を保ってください。その後、きれいなガーゼなどを耳に当てて起きあがり、流れ出た液を拭き取ってください。
- 使用し忘れた場合は、気がついたときに1回分を使用し、同日の2回目の点耳はできる限り間隔を空けて行ってください。絶対に2回分を一度に使用してはいけません。
- 誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、自分の判断で使用するのを止めないでください。

生活上の注意

•

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、(鼻科)喘鳴(ヒューヒュー音)、咳、鼻炎(鼻汁、くしゃみなど)、嘔吐、吐き気、発疹、頭痛など、(耳科)外耳道湿疹、点耳時耳痛、発疹などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- じんま疹、チアノーゼ(皮膚、唇、爪などが青紫色になる)、発汗[ショック、アナフィラキシー]
- 発作的な息切れ、喘鳴(ヒューヒュー音)、呼吸をしにくい[喘息発作、呼吸困難]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光を避けて、室温(1～30℃)で保管してください。粉末を溶かした後は、冷所(1～15℃)に保存し、7日以内に使用してください。ただし、ネブライザーにより室温で使用する場合は、溶解後20時間以内に使用してください。
- 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。
- 他の容器に入れ替えないでください(誤用や品質が変わる原因になります)。
- 容器に他のものを入れて使用しないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。